

日・コートジボワール 港湾ワークショップの開催結果について ～コートジボワールと日本の港湾分野における協力関係を深化～

国土交通省港湾局は、コートジボワールへの本邦企業の海外展開を支援すると共に、日本・コートジボワール間の港湾分野における協力関係をさらに深化させるため、1月10日に「日・コートジボワール 港湾ワークショップ」を首都アビジャンで開催しました。

ワークショップでは、コートジボワール側からアビジャン港湾公社ファリープロジェクトマネージャー・サンペドロ港湾公社ザハビ戦略部長によりコートジボワールの港湾の概況についてのプレゼンテーションが行われました。また、日本側から港湾分野における円借款事業を通じて行った技術移転などをプレゼンテーションし、日本の「質の高いインフラ投資」への理解増進を図りました。また同ワークショップの後、港湾公社と日本企業との意見交換も行われました。

1. 日 程： 2025 年 1 月 10 日(金)

2. 場 所： FROMAGER, IVOTEL Hotel (アビジャン市内)

3. 参加者：両国で約 60 名(日本側約 40 名、コートジボワール側約 20 名)

○日本側

国土交通省(港湾局 種村国際企画室長、総合政策局 参事官(交通プロジェクト)室)

在コートジボワール日本国大使館

JICA コートジボワール事務所

海外港湾物流プロジェクト協議会 会員企業

(五洋建設(株)、東亜建設工業(株)、東洋建設(株)、(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル、日本製鉄(株)、豊田通商(株)・CFAO、三菱商事(株)、(株)メタルワン、JFE エンジニアリング(株))

○コートジボワール側

運輸省(Ministry of Transport)、港湾関連団体(Communauté Portuaire)

アビジャン港湾公社(Port Autonome d' Abidjan (PAA))

サンペドロ港湾公社(Port Autonome d' San Pedro(PASP))

4. ワークショップ概要(別紙のとおり)



JICA 若林所長による挨拶



在コートジボワール日本大使館杉山参事官による挨拶

【問い合わせ先】

港湾局 産業港湾課 国際企画室 千葉、狩野

電話:03-5253-8111(内線 46465、46469) 直通:03-5253-8679

日・コートジボワール 港湾ワークショップ

日時：2025年1月10日(金)15:00～18:30

会場：コートジボワール共和国アビジャン市，IVOTEL Hotel

(プログラム)

1. 開会挨拶

- 運輸省 コネ 官房長官
- JICA コートジボワール事務所 若林 所長
- 在コートジボワール日本大使館 杉山 参事官

2. コートジボワール港湾関係者、JICA、海外港湾物流プロジェクト協議会 会員企業による発表

- (1) - アビジャン港湾公社 Fally Stephane プロジェクトマネージャー
- (2) - サンパドロ港湾公社 Zahabi Patrice 戦略部長
- (3) JICA's Cooperation in the Port Sector
 - JICA コートジボワール事務所 斎藤聖子 次長
- (4) Company Introduction
 - 東洋建設株式会社 今井清吾 国際支店営業部長
- (5) Advanced Port Construction Technology
 - 五洋建設株式会社 田口治宏 執行役員
- (6) Highlighting Our Port Achievements & Presence in the African Region
 - 東亜建設工業株式会社 法月強太 国際事業本部営業部長

3. 閉会挨拶

- 国土交通省 種村誠之 港湾局産業港湾課国際企画室長

4. 意見交換会

(概要)

コートジボワール共和国・アビジャン地区では、当該国及びサヘル地域内陸国に対する人口及び経済成長に伴う貨物量の増大に伴い食糧の安定供給の観点から日本の円借款事業で「アビジャン自治港穀物バース改善計画」が実施されており、2023年3月には主要な土木工事が完了しております。

このようなコートジボワールにおける港湾分野での2国間の協力が進む中、日本の「質の高いインフラ投資」に対する更なる理解増進を図るとともに、日本・コートジボワール間の港湾分野における協力関係をさらに深化させることを目的として「日・コートジボワール港湾ワークショップ」を開催しました。

ワークショップ冒頭に運輸省コネ官房長官より、コートジボワールの港湾開発における両国間の協力の歴史、港湾開発の現状について述べられました。

次にアビジャン港湾公社、サンパドロ港湾公社、JICA コートジボワール事務所、海外港湾物流プロジェクト協議会会員企業3社からプレゼンテーションが行われ、現地港湾公社から当該港に関する現況、港湾建設技術や、事業を通じて積極的にコートジボワールの技術者に対して伝承を行ってきた厳しい安全・品質管理などについて発表し、日本の「質の高いインフラ投資」への理解増進を図りました。

最後に、国土交通省港湾局種村室長より、コートジボワールの港湾分野における「質の高いインフラ投資」を通じ引き続きコートジボワールの港湾インフラ整備に向けた連携や良好な国際関係の構築を目指す旨を述べ、ワークショップを締めくくりました。

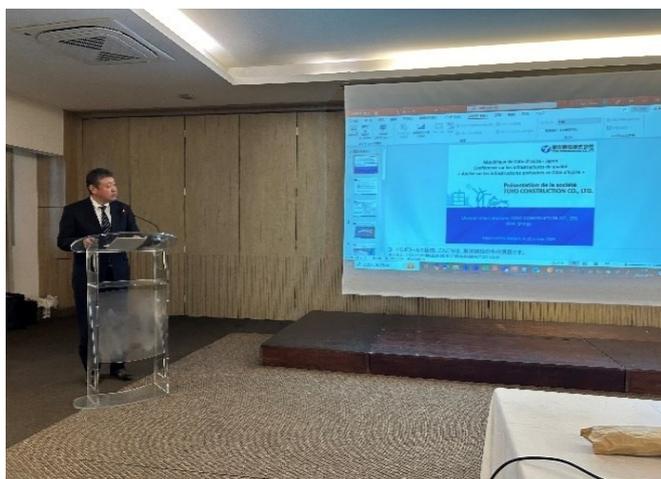
ワークショップ終了後は、アビジャン港湾公社、サンパドロ港湾公社と日本企業が参加するネットワーキングセッションが設けられ、両国関係者が活発に意見交換する姿が多く見られました。



運輸省コネ官房長官による開会挨拶



アビジャン港湾公社ファリープロジェクト
マネージャーによる発表



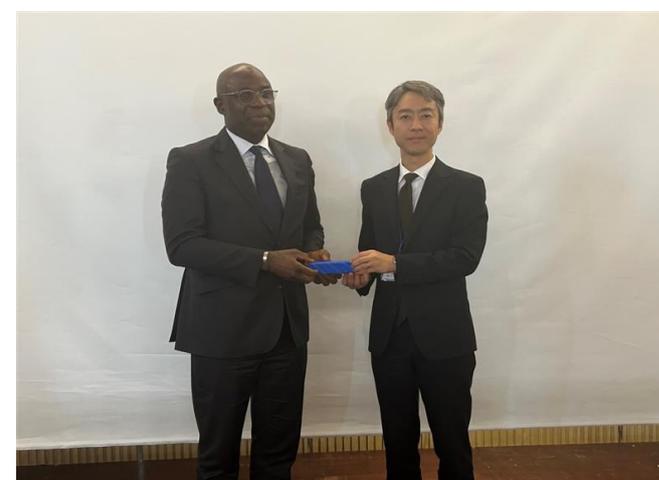
東洋建設 今井国際支店営業部長による発表



東亜建設工業 元国際事業本部営業部営業一
課長による発表



五洋建設 曳沼国際土木本部 営業グルー
プ長による発表



日・コートジボワール両国代表
(左:コネ官房長官、右:種村国際企画室長)